

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5012	(H.24)No.	5012
-----------	------	-----------	------

事務事業名 農業研修センタ - 管理費			
担当部局名		担当室名	
産業部		農林資源室	
室長名		連絡先	
西森 平太郎		63-7625	
新・継	事業期間		根拠法令等
継続	平成 22 年度 ~	平成 年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	1	魅力ある農業づくり
重点施策コード	2-5.名張ブランドづくりの推進(地産地消・自産自消の推進)		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	303502
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	農業研修センタ - 費	
項	農業費	(小事業名)	
目	農業研修センタ - 管理費	農業研修センタ - 管理費	

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>指定管理者制度を活用した施設の管理運営業務 (指定管理者: “なばり農業”担い手育成会)</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>農業関連団体及び市民団体の利用を促進し、農業の多彩な担い手の育成。</p>
--	--

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)				
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 指定管理者(“なばり農業”担い手育成会)による施設の管理運営業務(指定管理料) ・施設の維持管理業務 ・窓口相談業務 ・センタ - 主催事業の実施 ・農林業団体支援 4,358千円	[事業内容(事業量)・事業費] 指定管理者(“なばり農業”担い手育成会)による施設の管理運営業務(指定管理料) ・施設の維持管理業務 ・窓口相談業務 ・センタ - 主催事業の実施 ・農林業団体支援 4,358千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)		
直接事業費	4,358千円	4,358千円	4,358千円	4,358千円	4,358千円		
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
一般財源	(0) 4,358	4,358	4,358	4,358	4,358	4,358	
人工数							
職員	0.03人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	
概算人件費	(0千円) 236千円	309千円	309千円	309千円	309千円	309千円	
+ 総事業費	(0千円) 4,594千円	4,667千円	4,667千円	4,667千円	4,667千円	4,667千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標 実績	利用団体数	団体	9	8	8	8
活動指標	目標 実績	研修、講座等参加人数	人	1,621	1,706	548	1,656
	目標 実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
事業を推進し、より良い成果を得られるよう努めた。	管理業務、研修・講座等の内容及び開催回数を検討し、経費の抑制に努める。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
退職後の余暇の過ごし方として、農業(家庭菜園)への関心が高まりセンターの利用回数の増加が予想される。	家庭菜園講座、物作り体験講座等の開催要望が多い。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載 管理業務、研修・講座等の内容及び開催回数を検討し、経費の抑制に努める。

特記事項